



エスパルス エコチャレンジ しずおか校庭芝生化応援団

エスパルスの練習場(三保グラウンド)の整備作業の際に抜き取られる廃材(小さな芝生の株)を利用したポット苗をつくり、育生し、植え付けることで、土だった場所に2～3か月後には緑に輝く芝生が広がります。このポット苗方式による芝生化を支援するために結成された『しずおか校庭芝生化応援団』は、地元団体、NPO、企業とエスパルスからなるもので、苗の育生と提供、苗づくり作業と植付け作業および維持管理における物資とボランティア人材の提供、セミナー開催や芝生の普及などを行っております。エスパルスの練習場とホームスタジアムの「兄弟芝」から生まれたポット苗で、2019年までに59か所の芝生化を達成してきました。

活動場所 : エスパルス三保グラウンド、芝生化する(した) 学校、幼稚園、保育園、施設ほか

取組テーマ : 環境

協働者 : 企業/NPO/住民/学校/行政/その他団体/アカデミー生

協働者名 : 静岡県地球温暖化防止活動推進センター { (特非) アースライフネットワーク }、(特非)グラウンドキーパーズ、鈴与グループ、静岡信用金庫、(株)静鉄ストア、(株)エンチョー、損保ジャパン日本興亜(株)、Shizuoka環境キャラバン隊、芝生化を目指す学校、幼稚園、保育園、施設等の関係者と親子、地域住民、エスパルスアカデミーの選手、静岡市、静岡県グリーンバンク

活動で工夫した点

- 誰もが参加できる体制作り。●芝生化を目指す園や学校、施設側の主体性、積極関与。
- 説明会、苗作りから植付け、維持管理までの一貫指導。●行政や団体の制度活用。
- ロゴ作成、ノボリやバナー、統一の帽子で一体感創出。●選手と一緒に作業するという体験。●こどもを飽きさせないよう紙芝居やキャラショー、抽選会を実施。
- ヒートアイランド現象緩和、涼感による空調の省エネ、保湿、生物多様性等環境面での効果PR。

活動で大変だった(苦労した)ポイント

- 芝の手入れに関する多数の問合せ(講座を受講、プロが指導、芝刈りや肥料散布を応援団が支援する等して対応) ●当日のボランティア人数確保。●エスパルスの練習場を使うため日程調整に苦心する。よって雨天でも決行(予め案内し参加者各自が雨具を用意して作業)
- 芝生がこどもの身体と心の発育に役立つということの啓発。●「芝生の管理は大変だ」という固定観念から「やればできるんだ」というマインドチェンジ促進。

クラブや地域の活動後の変化

- こども、親、地域に喜ばれる様子が直接感じる事ができた。●芝生化によりこどもが外で遊ぶ時間が増えた。●こどもの遊び場から地域コミュニティの場になった。●芝生化への理解が深まった。●PTA活動は母親が中心だが芝生化作業は父親も参加するので子供との会話が増えた。●寄付して終わりではなく、ボランティアや人の交流でこれまでに無かった施設や企業と関わりを持つことができ、その他の案件でも連携するに至った。



協働者の声

●地元に確かな貢献ができるとても良い活動だと思っている。継続していきたい(温暖化センター青島さん) ●短期間で終わってしまったのでは社会にインパクトを残せない。また活動を継続させていくには推進母体が機能し続けることが重要であり、エスパルスが求心力となるべく各協働者から信頼される存在でなければならない。自分だけ良い恰好をする者が出てきてはならない(鈴与商事(株)土屋さん) ●10年以上続いているがまだ十分普及しているとは言えない。芝生化は園庭、校庭だけでなく公共施設や民間の空地まで広げていきたい。そのためにはエスパルスの更なる行動力が不可欠。エスパルスの中にも芝生のヘルプデスクがあると良い。(グラウンドキーパーズ佐野さん) ●土ほこりが上がらない、こどもが裸足で走り回れる、こどもが元気になった、芝生が一番の遊具、業者に丸投げではなく自分たちが植えた芝生なので愛着が沸く(芝生化した側の関係者)

参加者の声

ポット苗づくりは芝生化の肝となる作業で当初から参加しています。選手やパルちゃんと一緒に取り組む本活動は家族連れでの参加もあり、年代や性別、所属部署や組織の垣根を越えた交流も魅力の一つです。当グループとしては、県外出身者も多く新入社員が地域やクラブに親しみを持つ大変良い機会となっており、回を重ねるごと地域に緑が広がる様子は非常に感慨深く、毎年楽しく参加しています。(鈴与グループ社員)

活動の「こころ」というPRポイント

- 先進性と10年以上の継続性。●クラブ、協働者それぞれの強みを出し合い成功につながった。
- エスパルスの本拠地で選手と一緒に汗をかき、楽しみながらできる地域貢献活動である。
- アフターサポートも充実。

補足

- 本活動は、2007年に始まった『エスパルス エコチャレンジ』と題したクラブの環境への取り組みの一環である。『エスパルス エコチャレンジ』は2010年と2012年に環境大臣賞を受賞している。 ●ポット苗方式による芝生化は従来の方式に比べ大幅に安価でできる。
- 地球温暖化防止、こどもの運動意欲の増進とスポーツ振興、そして情操教育にも役立つ。
- [3] の設問で⑧環境を選択したが①③④⑤⑥にも該当する。